

ネックレス構想の見直しや、自然再生法、都市再生プロジェクト、河川環境整備事業等での事業化等に向けた様々な検討が、県庁内あけて実施されてきた。

㉔ 湛水水田モニタリング調査委託

機 関 名	湖北地域振興局田園振興課	実施年度	平成 14 年度
調査研究の目的	湖辺水域の自然再生のため、多様な生態系機能・地域特性を有する琵琶湖と陸域との推移帯に位置する早崎内湖干拓地内の水田を通年に渡り湛水化し、湖辺周辺の低湿地水田を内湖化した場合の生態系機能や水質浄化機能などについて、再生の可能性を検討するためにモニタリング調査を実施する。		
調査研究の内容	1. 基本構想調査 調査結果と環境調査検討会における結果をもとに、市民参加調査を踏まえて基本構想イメージ図を作成する。 2. 生態系機能調査 (調査回数 4 回) ①陸生植物 ②陸生動物 ③水生植物 ④水生動物 3. 水質浄化機能調査 ①水質調査 (調査回数 5 回) ②プランクトン調査 (調査回数 4 回)		
外部委託の必要性	内湖機能再生の可能性を検討するには、モニタリング調査で動植物の移り変わりや、水質等環境の変化に対する調査が必要であり、その調査には専門的知識が不可欠である。		
委託期間	平成 14 年 4 月 5 日 ~ 平成 15 年 3 月 10 日		
契約方法 (業者数)	指名競争入札 (12 者)		
委託金額	7,875,000 円 (変更後 9,194,850 円) (国庫 1/2)		
成果の内容	1. 環境調査 2. 基本構想作成 内湖化に向けた基本構想のイメージ図の作成 3. 観察会の実施 4. 検討会の開催 まとめ：湛水開始直後に比べ、水生植物の出現をはじめ、飛来する鳥類の種や魚類の種および個体数の増加など、内湖機能再生に向けて大きな環境の変化が確認された。		
成果の利活用について関係部課との連携	水政課、河港課、農政課等による早崎内湖再生に向けた検討に生かすとともに、学識経験者、県研究機関等による環境調査検討会で報告し、今後の取組方向についての指導・助言を得ている。		
成果の利活用状況	現段階では施策への反映はない。 早崎内湖再生事業をマザーレイク 21 計画の重要な事業として位置づけ、この調査研究の成果等をもとにして、引き続き、科学的データの蓄積に必要な調査を実施しながら、国庫事業の採択に向けて国への働きかけを強めるとともに、地元地権者への理解と協力を得るために説明を継続していく。 今後も、早崎内湖再生の事業化に向けて取り組みを進めていく。		

㉕ 湛水水田モニタリング調査委託

機 関 名	湖北地域振興局田園振興課	実施年度	平成 15 年度
調査研究の目的	湖辺水域の自然再生のため、多様な生態系機能・地域特性を有する琵琶湖と陸域との推移帯に位置する早崎内湖干拓地内の水田を通年に渡り湛水化し、湖辺周辺の低湿地水田を内湖化した場合の生態系機能や水質浄化機能などについて、再生の可能性を検討するためにモニタリング調査を実施する。		

調査研究の内容	<p>1. モニタリング調査 これまでの調査結果等により、水質、植物相の季節的・経年的変化等から、湛水水田が持つ多面的機能について明らかにする。</p> <p>2. 生態系機能調査 (調査回数 4 回) ①陸生植物 ②陸生動物 ③水生植物 ④水生動物</p> <p>3. 水質浄化機能調査 ①水質調査 (調査回数 5 回) ②流量調査 (調査期間 10 か月) ③プランクトン調査 (調査回数 4 回)</p>
外部委託の必要性	<p>内湖機能再生の可能性を検討するには、モニタリング調査で動植物の移り変わりや、水質等環境の変化に対する調査が必要であり、その調査には専門的知識が不可欠である。</p>
委託期間	平成 15 年 4 月 8 日 ~ 平成 16 年 3 月 10 日
契約方法 (業者数)	指名競争入札 (1 1 者)
委託金額	8,925,000 円 (変更後 8,220,450 円) (国庫 1/2)
成果の内容	<p>1. 環境調査 2. 過年度の調査を踏まえた総合評価 3. 観察会の実施 4. 検討会の開催 まとめ：湛水開始から 2 年が経過し、動植物とも飛躍的に種の増加を見せており、県内でも有数の多様な生物相が形成されつつある。</p>
成果の利活用について関係部課との連携	<p>水政課、河港課、農政課等による早崎内湖再生に向けた検討に生かすとともに、学識経験者、県研究機関等による環境調査検討会で報告し、今後の取組方向についての指導・助言を得ている。</p>
成果の利活用状況	<p>現段階では施策への反映はない。 早崎内湖再生事業をマザーレイク 21 計画の重要な事業として位置づけ、この調査研究の成果等をもとにして、引き続き、科学的データの蓄積に必要な調査を実施しながら、国庫事業の採択に向けて国への働きかけを強めるとともに、地元地権者への理解と協力を得るために説明を継続していく。 今後も、早崎内湖再生の事業化に向けて取り組みを進めていく。</p>

27 湛水水田モニタリング調査委託

機 関 名	湖北地域振興局田園振興課	実施年度	平成 16 年度
調査研究の目的	<p>湖辺水域の自然再生のため、多様な生態系機能・地域特性を有する琵琶湖と陸域との推移帯に位置する早崎内湖干拓地内の水田を通年に渡り湛水化し、湖辺周辺の低湿地水田を内湖化した場合の生態系機能や水質浄化機能などについて、再生の可能性を検討するためにモニタリング調査を実施する。</p>		
調査研究の内容	<p>1. モニタリング調査 これまでの調査結果等により、水質、植物相の季節的・経年的変化等から、湛水水田が持つ多面的機能について明らかにする。</p> <p>2. 生態系機能調査 (調査回数 4 回) ①陸生植物 ②陸生動物 ③水生植物 ④水生動物</p> <p>3. 水質浄化機能調査 ①水質調査 (調査回数 5 回) ②水温調査 (調査期間 10 か月) ③プランクトン調査 (調査回数 4 回)</p> <p>4. シードバンク調査および管理手法検討調査 ①シードバンク調査 ②管理手法検討調査</p>		
外部委託の必要性	<p>内湖機能再生の可能性を検討するには、モニタリング調査で動植物の移り変わりや、水質等環境の変化に対する調査が必要であり、その調査には専門的知識が不可欠である。</p>		
委託期間	平成 16 年 4 月 20 日 ~ 平成 17 年 3 月 25 日		

契約方法 (業者数)	指名競争入札 (10 者)
委 託 金 額	6,247,500 円 (変更後 6,632,850 円) (国庫 1/2)
成 果 の 内 容	<p>1. モニタリング調査 2. 湛水田水管理資料の整理 3. シードバンク調査 4. 管理手法検討調査 5. 過年度の調査を踏まえた総合評価 6. 検討会の開催</p> <p>まとめ: 稀少種が生育範囲を拡大しており、かつて琵琶湖周辺や内湖周辺に見られた湿潤で人為的影響の少ない環境が復元しているものと推察される。</p>
成果の利活用について関係部課との連携	水政課、河港課、農政課等による早崎内湖再生に向けた検討に生かすとともに、学識経験者、県研究機関等による環境調査検討会で報告し、今後の取組方向についての指導・助言を得ている。
成果の利活用状況	<p>現段階では施策への反映はない。</p> <p>早崎内湖再生事業をマザーレイク 21 計画の重要な事業として位置づけ、この調査の成果等をもとにして、引き続き、科学的データの蓄積に必要な調査を実施しながら、国庫事業の採択に向けて国への働きかけを強めるとともに、地元地権者への理解と協力を得るために説明を継続していくこととしている。</p> <p>今後も、早崎内湖再生の事業化に向けて取り組みを進めていく。</p>

28 市民参加調査委託

機 関 名	湖北地域振興局田園振興課	実施年度	平成 14 年度
調 査 研 究 の 目 的	<p>地域住民との協働により内湖再生を推進するため、早崎内湖干拓地周辺で、NPO や小中学生などによる市民参加型モニタリング調査を企画するとともに、湛水区域の水路やその周辺における身近な生き物調査結果について幅広く情報を発信し、内湖再生の必要性等について理解を得る。また、これらの調査を内湖機能再生の可能性を検討するための基礎資料とする。</p>		
調 査 研 究 の 内 容	<p>住民参加調査 (観察会) を実施する。</p> <p>自然再生推進の考え方に沿って、地元との協働で早崎内湖の再生を推進するため、地元住民や NPO 等にもモニタリング調査に参加願うとともに調査結果を幅広く発表・発信する。</p> <p>・住民参加調査 (観察会) 1 回 対象者: NPO や小中学生、地域住民 対 象: 水質、生き物</p>		
外部委託の必要性	<p>内湖機能を再生させるためには、地域住民の理解と協力を得ることが不可欠と考えられるため、内湖周辺における身近な生き物の調査等を企画し、内湖再生の意義を認識する機会とするとともに、市民に対する広報や情報発信、地域振興策の検討を行うもので、内湖化した場合の活用方法や維持管理手法等を検討する観点から、地元の自主性を育成するためにも、地元活動組織に委託するのが効果的である。</p>		
委 託 期 間	平成 14 年 11 月 26 日 ~ 平成 15 年 3 月 25 日		
契約方法 (業者数)	随意契約 (1 者)		
委 託 金 額	659,400 円 (国庫 1/2)		
成 果 の 内 容	<p>内湖化した場合の生態系機能や水質浄化機能などを検討するなかで、NPO や小中学生などによる市民参加型モニタリング調査を企画するとともに、調査結果等を幅広く情報発信した。</p> <p>市民参加調査等 ①内湖生き物調査 ②地元聞き取り調査 ③早崎ビオトープホームページ開設</p> <p>まとめ: 市民参加調査の内容や結果等をホームページに掲載して、幅広く情報発信し、普及啓発を図った。</p>		